2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　リョーサン菱洋ホールディングス株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　167A　　URL　https://www.rr-hds.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長執行役員　　（氏名）中村 守孝
問合せ先責任者　（役職名）　取締役常務執行役員管理本部長　（氏名）高橋 則彦　（TEL）03-3546-5003
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年11月30日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	203,854	18.3	8,668	123.8	8,173	151.1	6,374	71.5
2026年３月期中間期	172,249	△4.3	3,873	13.5	3,254	△2.8	3,717	△35.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　5,798百万円（　49.1%）　2026年３月期中間期　3,889百万円（　67.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	158.89	158.79
2026年３月期中間期	92.76	92.69

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	254,088	139,975	55.1	3,486.43
2026年３月期	250,806	136,895	54.6	3,413.06

（参考）自己資本　2027年３月期中間期 139,954百万円　　2026年３月期 136,866百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	70.00	―	70.00	140.00
2027年３月期	―	70.00			
2027年３月期(予想)			―	70.00	140.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	5.6	14,000	38.2	13,000	45.6	9,500	27.7	236.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　ー社（社名）　　、除外　　1社（社名）菱洋エレクトロ株式会社

（注）詳細は、添付資料Ｐ．９「２．中間連結財務諸表及び主な注記　（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	50,000,000株	2026年３月期	54,000,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	9,857,345株	2026年３月期	13,899,056株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	40,117,595株	2026年３月期中間期	40,079,160株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当中間期の経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間期の経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（表示方法の変更） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（企業結合等関係） …… 12

１．当中間期の経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

①　全体の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）における世界経済は、各国における通商政策の動向や国際情勢の不透明感、エネルギー価格の変動などを背景に、先行きが見通しにくい状況が継続しました。

国内経済においては、雇用・所得環境の改善や設備投資の底堅い推移がみられたものの、物価上昇等の影響により個人消費には力強さを欠くなど、今後の動向には引き続き留意が必要な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界では、半導体分野において、ＡＩ関連需要の拡大を背景に、メモリーをはじめとする一部製品でリードタイム長期化や需給の逼迫がみられました。また、ソリューション分野では、生成ＡＩの活用が実証段階からさらなる広がりをみせる中、ＡＩ活用を支えるＩＴインフラやデータ基盤の整備、セキュリティ強化等に向けた投資需要は引き続き堅調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は2,038億54百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は86億68百万円（前年同期比123.8%増）、経常利益は81億73百万円（前年同期比151.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は63億74百万円（前年同期比71.5%増）となりました。

②　セグメントの業績概況

第１四半期連結会計期間より、組織構造の変更に伴い、従来「ソリューション事業」に含まれていたシステム機器と設備機器の一部商材に関する取引を「デバイス事業」に含める方法に変更しております。また、従来「調整額」に含めていた一般管理費用を各セグメントに配賦しております。

なお、以下の前年同期比較については、当中間連結会計期間の事業セグメントの区分に基づき作成した数値で比較分析しております。

イ．デバイス事業

ＰＣ周辺機器やＯＡ機器向けを中心にメモリービジネスが拡大したことに加え、その他の半導体・電子部品についても幅広い分野で堅調に推移したことから、売上高は1,590億71百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は62億79百万円（前年同期比137.7%増）となりました。

ロ．ソリューション事業

企業における業務効率化や競争力強化等に向けた旺盛なＩＴ関連投資を背景に、ＡＩ分野を中心とした需要が拡大したことに加え、収益性の改善が進んだことから、売上高は447億83百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益は23億88百万円（前年同期比94.0%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて32億81百万円増加し、2,540億88百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて２億１百万円増加し、1,141億13百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて30億80百万円増加し、1,399億75百万円となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は360億24百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益が92億30百万円あったことに加え、契約負債が88億４百万円増加したため、棚卸資産が74億33百万円増加したものの、全体で112億52百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等により、全体で15億67百万円の資金の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金が54億58百万円減少したことに加え、コマーシャル・ペーパーが29億97百万円減少し、配当金の支払が27億96百万円あったため、全体で119億96百万円の資金の減少となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年８月７日に公表しました業績予想を以下の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	370,000	12,000	11,000	7,500	187.03
今回修正予想(B)	380,000	14,000	13,000	9,500	236.80
増減額(B－A)	10,000	2,000	2,000	2,000	
増減率(%)	2.7	16.7	18.2	26.7	
(ご参考)前期実績(2026年３月期)	359,948	10,128	8,930	7,440	185.59

(修正の理由)

下期においては、ルネサスエレクトロニクス株式会社との特約店契約の終了に向けたビジネスの移管が順次進むことに伴い、その影響が拡大することを見込んでおりますが、メモリービジネスやＡＩ関連ビジネスが大幅に伸長した当中間連結会計期間の業績に加え、足元の事業環境及び今後の動向等を踏まえ、通期の連結業績予想を見直しました。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,973	36,244
受取手形及び売掛金	110,414	109,944
棚卸資産	56,115	63,342
未収入金	8,924	7,224
その他	3,303	3,300
貸倒引当金	△156	△228
流動資産合計	214,574	219,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,963	2,899
土地	7,135	7,135
リース資産（純額）	567	497
その他（純額）	705	802
有形固定資産合計	11,372	11,335
無形固定資産		
のれん	2,867	2,672
顧客関連資産	8,640	8,308
その他	3,587	3,430
無形固定資産合計	15,095	14,411
投資その他の資産		
投資有価証券	3,874	2,895
繰延税金資産	727	490
退職給付に係る資産	2,125	2,136
その他	4,228	4,154
貸倒引当金	△1,262	△1,219
投資その他の資産合計	9,694	8,457
固定資産合計	36,162	34,204
繰延資産		
創立費	69	57
繰延資産合計	69	57
資産合計	250,806	254,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,889	51,938
短期借入金	22,630	17,036
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
コマーシャル・ペーパー	19,977	16,979
リース債務	187	156
未払法人税等	3,032	2,900
賞与引当金	1,275	330
その他	6,367	14,217
流動負債合計	103,559	104,759
固定負債		
長期借入金	2,499	1,899
リース債務	423	375
繰延税金負債	5,556	5,251
退職給付に係る負債	833	799
その他	1,039	1,026
固定負債合計	10,352	9,353
負債合計	113,911	114,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	121,843	107,586
利益剰余金	42,433	46,000
自己株式	△49,668	△35,314
株主資本合計	129,608	133,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528	662
繰延ヘッジ損益	3	△33
為替換算調整勘定	6,664	5,990
退職給付に係る調整累計額	61	62
その他の包括利益累計額合計	7,258	6,682
新株予約権	28	20
純資産合計	136,895	139,975
負債純資産合計	250,806	254,088

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	172,249	203,854
売上原価	154,683	181,447
売上総利益	17,565	22,406
販売費及び一般管理費	13,692	13,737
営業利益	3,873	8,668
営業外収益		
受取利息	217	243
受取配当金	102	36
持分法による投資利益	―	3
受取賃貸料	28	35
貸倒引当金戻入額	7	16
その他	90	68
営業外収益合計	445	403
営業外費用		
支払利息	663	489
為替差損	200	160
持分法による投資損失	9	―
その他	190	249
営業外費用合計	1,064	899
経常利益	3,254	8,173
特別利益		
固定資産売却益	―	0
投資有価証券売却益	1,769	1,000
ゴルフ会員権売却益	―	2
関税還付金	399	339
特別利益合計	2,168	1,342
特別損失		
減損損失	―	199
経営統合関連費用	22	86
特別損失合計	22	285
税金等調整前中間純利益	5,400	9,230
法人税等	1,683	2,855
中間純利益	3,717	6,374
親会社株主に帰属する中間純利益	3,717	6,374

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,717	6,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△574	133
繰延ヘッジ損益	0	△36
為替換算調整勘定	742	△673
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	171	△576
中間包括利益	3,889	5,798
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,889	5,798

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,400	9,230
減価償却費	783	907
減損損失	－	199
のれん償却額	201	194
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△13	33
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△43	△45
受取利息及び受取配当金	△319	△279
支払利息	663	489
持分法による投資損益（△は益）	9	△3
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,769	△1,000
固定資産除売却損益（△は益）	0	16
売上債権の増減額（△は増加）	△4,335	126
棚卸資産の増減額（△は増加）	△489	△7,433
仕入債務の増減額（△は減少）	△408	3,418
未収入金の増減額（△は増加）	2,466	1,662
契約負債の増減額（△は減少）	1,183	8,804
その他	△1,005	△1,693
小計	2,322	14,627
利息及び配当金の受取額	641	287
利息の支払額	△674	△498
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,229	△3,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	11,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△150	△288
有形固定資産の売却による収入	－	1
無形固定資産の取得による支出	△301	△400
投資有価証券の取得による支出	△5	△0
投資有価証券の売却による収入	2,548	2,161
ゴルフ会員権の売却による収入	－	2
貸付けによる支出	－	△2
貸付金の回収による収入	1	16
定期預金の預入による支出	△172	△882
定期預金の払戻による収入	455	958
保険積立金の積立による支出	△9	－
保険積立金の解約による収入	1	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,366	1,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△6,333	△5,458
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	4,997	△2,997
長期借入金の返済による支出	△600	△600
リース債務の返済による支出	△141	△141
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△2,793	△2,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,872	△11,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	501	△472
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,943	351
現金及び現金同等物の期首残高	29,674	35,672
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,731	36,024

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

第１四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった菱洋エレクトロ株式会社は、同じく当社の連結子会社である株式会社リョーサンを吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、吸収合併存続会社である株式会社リョーサンは、「リョーサン菱洋株式会社」に商号変更しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月14日開催の取締役会決議に基づき、2026年５月25日付で自己株式4,000,000株の消却を実施しました。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が107,586百万円、自己株式が△35,314百万円となっております。

（表示方法の変更）

（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前中間連結会計期間において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「契約負債の増減額」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記しております。なお、この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた178百万円は、「契約負債の増減額」1,183百万円、「その他」△1,005百万円として組替えております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額（注）
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	134,514	37,735	172,249	－	172,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	134,514	37,735	172,249	－	172,249
セグメント利益	2,642	1,231	3,873	－	3,873

（注）セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	159,071	44,783	203,854	－	203,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	159,071	44,783	203,854	－	203,854
セグメント利益	6,279	2,388	8,668	－	8,668

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」において、199百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

３．報告セグメントの変更等に関する情報

第１四半期連結会計期間より、組織構造の変更に伴い、従来「ソリューション事業」に含まれていたシステム機器と設備機器の一部商材に関する取引を「デバイス事業」に含める方法に変更しております。また、従来「調整額」に含めていた一般管理費用を各セグメントに配賦しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、当中間連結会計期間の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(関連情報)

地域ごとの売上高に関する情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	92,225	43,794	30,096	6,132	172,249
連結売上高に占める割合(%)	53.5	25.4	17.5	3.6	100.0

(注)　売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	111,181	47,075	37,830	7,766	203,854
連結売上高に占める割合(%)	54.5	23.1	18.6	3.8	100.0

(注)　売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(参考情報)

所在地別セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	99,151	37,949	29,379	5,769	172,249	―	172,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,146	940	723	5	13,816	△13,816	―
計	111,297	38,890	30,103	5,774	186,065	△13,816	172,249
セグメント利益	1,754	650	1,301	45	3,752	120	3,873

(注) １　国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
２　各区分に属する主な国又は地域
アジア……タイ・台湾等
その他……米国等

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	116,660	43,981	35,684	7,528	203,854	―	203,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,230	1,270	1,138	28	23,667	△23,667	―
計	137,890	45,252	36,822	7,557	227,522	△23,667	203,854
セグメント利益	5,514	981	2,136	270	8,902	△233	8,668

(注) １　国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
２　各区分に属する主な国又は地域
アジア……タイ・台湾等
その他……米国等

（企業結合等関係）

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2025年10月29日開催の取締役会において、2026年４月１日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社リョーサンを吸収合併存続会社、同じく連結子会社である菱洋エレクトロ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併の決議を行い、両社は2026年１月28日に合併契約を締結いたしました。なお、2026年４月１日付で本合併を実施しております。

１．取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業の名称　　株式会社リョーサン
事業の内容　　デバイスの販売、ソリューションの展開等
被結合企業の名称　菱洋エレクトロ株式会社
事業の内容　　デバイスの販売、ソリューションの展開等

(2) 企業結合日

2026年４月１日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社リョーサンを存続会社、菱洋エレクトロ株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

リョーサン菱洋株式会社

(5) その他の取引の概要に関する事項

当社グループでは、両社が長年の歴史の中で培ってきた経営資源を活かし、お客様接点の絶対量の拡大とニーズを把握する仕組みの強化に向けた「生産性の向上」、両社の強みに基づく絞り込まれた取り組みによる「統合シナジーの創出」、競争優位性のあるノウハウの確立・強化による「独自性の創出」に注力しておりますが、このたび、これらの取り組みをさらに加速すべく、本合併を行うことといたしました。

２．実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年１月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。